

# タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2016 助成の概要と推薦理由

助成番号 16-2-2

プロジェクト名 長期的に医療的ケアが必要な子どもたちと家族の在宅生活を支える人材育成プロジェクト（2）  
団体名 認定特定非営利活動法人 NEXTEP  
代表者名 島津 智之  
所在地 静岡県  
助成額 50万円  
助成期間 2017年6月1日～2018年5月31日  
設立年 2000年  
U R L <http://nextep-k.com>



自宅で生活する医療的ケアが必要な子どもや重い障がいのある子どもたちが増えているが、地域で支える人的・社会的資源は限られており、多様な人たちの協力が求められている。その一方で、地域にそのような子どもと家族がおり、重い負担を抱えながら生活していることを知っている人は少なく、特にこれから社会を担う学生が知る機会はほとんどないのが現状である。

この団体は「笑顔あふれる地域社会づくり」を目指し、社会課題の解決のためのネットワークづくりや不登校児のサポート、重い障がいや難病の子どもの在宅生活支援に取り組んでいる。

本助成では、熊本県内の大学生を対象に、長期に医療的ケアが必要な子どもたちが地域で生きていくための理解者やサポーターとなるよう、若者を育てる研修プログラムのシステム化に取り組んでいる。

助成1年目は、これまで同団体が単発的に実施してきた学生ボランティア向け研修を再構築し、同団体内の学生グループ「ドリカムキッズ」の有志を対象に、講座と見学／実習等による研修プログラムを試行するとともに、経験と学びの場を提供してきた。

今回の助成2年目は、1年目の実績を踏まえた研修プログラムのブラッシュアップと、そのプログラムの組織への定着を目指している。

本取り組みは、大学卒業後も重い病気や障がいをもつ子どもへの視点を持った社会人となるための機会提供として非常に有意義である。本助成を通じて、若手ボランティア研修プログラムの基礎づくりができ、自主事業として継続する体制づくりにつながることを期待する。さらに、母体の「ドリカムキッズ」の活性化につながることも期待している。